

## 平成30年度「ふるさと龍ヶ崎応援寄附金」の活用を予定している主な事業

平成30年度においては、以下の事業へ、総額1億円のみらい育成基金（寄付金の積立金）を活用する予定です。※実際にかかった経費によって異なる場合があります。

### 未来を担う子どもたちのための事業

龍ヶ崎市は、「子育て環境日本一！」を目指しています。

※下記以外にも、子育てコンシェルジェの配置などの子育て環境日本一を目指した各種事業を実施しています。

#### 小中学校タブレット リース事業

市内全小中学校に電子黒板やタブレット端末等のICT機器を導入するとともに、ICT支援員の配置を行います。

#### 小児インフルエンザ 予防接種事業

6ヶ月から13歳未満のお子さんを対象に、小児インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します。

#### こども祭りの開催

龍ヶ崎市の次代を担う子どもたちと保護者が集い、コンサートやアニメ映画上映、ワークショップ等の遊びや交流を通してふれあい、子育ての環を広げます。

#### たつのご預かり保育

##### 利用助成事業

小学校3年生までのお子様で、延長保育や病児保育、リフレッシュ保育事業等を利用した場合に年30,000円を上限に利用金額の2分の1を助成します。



### 豊かな自然、地域文化を守り、はぐくみ、及び次代に受け継ぐための事業

龍ヶ崎市には、牛久沼などの豊かな自然や

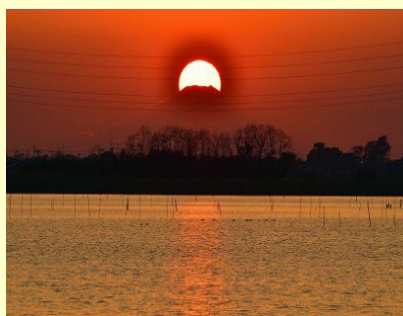
撞舞などの伝統文化が保存・継承されています。

#### 牛久沼の有効活用

牛久沼周辺地域の高いポテンシャルを活かし、観光・交流拠点化を目指し、周辺整備やソフト事業を展開し、交流人口の増加を図ります。

#### 撞舞柱格納倉庫建築工事

国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞（つくまい）。高さ1.4mの柱の上で、アマガエルに扮した舞男が逆立ちなどの妙技を披露します。平成30年度は7月29日に開催されます。その柱や柱を支える舞台の材料を格納する倉庫を建築します。



#### 絹本著色16羅漢像掛軸複製

国の重要文化財である金龍寺の16幅の羅漢像。現在、管理が困難なことから、県の歴史館に保管されています。そのため、なかなか市民が目にする事ができないことから、平成29年度より4幅づつ精巧なレプリカを製作しています。



### その他の活用予定事業



#### 道の駅整備

特産品の販路拡大と地域情報発信機能の強化に向けた拠点を整備し、龍ヶ崎市の魅力を発信するため、牛久沼沿いの国道6号線に道の駅を整備します。平成30年度は牛久沼護岸の改修工事等を行います。